
偽千者家族

A I

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

偽千者家族

【Nコード】

N2558B

【作者名】

AI

【あらすじ】

一家の家族の物語です。半分実際に起こったできごとです。読んでいただけたら幸いです

俺は16歳高校2年生だおれはいままで
楽しく家族ともなかよくやっていた。あいつがくるまでは。
高2の春にそいつはやってきた

「ただいまー」

いまかえってきたのが母の妹にあたる朋世30歳だ。

「うわー嫌な奴がかえってきたなー」数日はなにごとく無くすぎて
いったのだが、ある日のあさだった。「今日だるいから遅れいこー
っと」

。

「バーン」

だれよこんなときにはいつてくるならノックしろよな

「おいおまえはよいけや糞みたいな顔してきもちわるい。」

「あてめーなにかキモチわるいだボケ」

俺はプツーンときれて蹴った。あいつはその時、うす笑いをうか
べた。

何がおかしいんだこいつ。

「バン」

警察ですがどうしました。

朋世 「いやこの人がなぐって来て母親にも暴力ふるってくるんで
す。何いってるんだ。」

俺

「嫌べつに喧嘩してただけで何もないです。」

母

「この息子は暴力ばかりでこまってるんです。」

俺

「ちょっとそんなこといっかいもやったことないよ。母さんちよつ
とまってよ。」

警察

「ではご家族のかたつれていきますね。」

俺の人生は終わったなんだろう家族ってなんだろう。おれは家族にも裏ざられ進学もなしになり今現在はバイトをしながらはたらいっている。俺はこの出来ごとが、おこってから

人間がこわくなり人間不信になってしまった。

この出来ごと半分じっさいに起こりました。みなさんは家族を信じてますか。すくなくともおれは信じてない。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2558b/>

偽千者家族

2010年10月13日03時18分発行